

# 社会保険労務士合格体験記

札幌市 新規開業さん（第41回社労士試験合格 札幌通学コース）

## 1. スコアレとの出会い

「どうしてスコアレに行かないの?!」東京本社人事部の先輩の声。  
名の通った某大手資格学校の夜学へ通っていた私に、電話の向うで驚いて仰いました。  
続けて「以前、北海道合格率が全国ナンバー1になった時、大いに貢献した講師がいる学校なんだよ。」

これがスコアレの門をたたいたきっかけです。

## 2. 勉強大キライ!…だったはずが。

学生時代は目標も曖昧、まともに受験勉強などしたことも無い怠慢な自分でした。  
社会人になってから短期間に会社が二度も倒産し、実務経験は積んでいましたが履歴書に書けるまともな資格が無いと再就職はかなり厳しく、突然焦りだしました。

そんな窮地に追込まれた時、スコアレの先生達は励ましてモチベーションを高めてくださいました。そして今では勉強大キライ人間が「法律の勉強は超面白い!」と思うまでに変わりました。

思うに先生達は決して手を抜かず、生徒の合格とその後の人生を真剣に考えて協力してくださっているから、それが伝わって私の様な怠慢で御気楽人間でも合格できたと思います。

## 3. 「条文」中心学習が一番近道!☆☆社労士は法律家です☆☆

本試験問題は殆ど条文から出題されます。「●法第●条について…」等の問題でも動揺するどころか逆に「あの条文だ」と断定でき、気持ちが落ち着きます。

もちろん実務でも根拠条文を基に説明すると、職場の上司ばかりでなく役所関係者にも説得力が出ます。

## 4. 勉強の仕方

市販されている基本書や、一般の指導校にありがちな教材は、綺麗に色分けして、イラストや表をたくさん入れて一見馴染み易くしています。何だかすごく分かった気がします。でもそれが落とし穴です。それらの教材はイラスト等でスペースを多く使っている為、本来必要な情報が極端に少ないと思います。

では、条文や文字ばかりのスコアレのテキストをさっと目を通しただけで何物にも変えがたい宝物にする自己流学習方法をご参考までにお伝え致します。

### ① 目次拡大コピー

講習や自習の時は常に机の上に置きます。その科目の大系が見えることと、開きたいページがすぐ分かり時間短縮になります。拡大コピーするのは空白を利用し要点を書き込む為です。

### ② 4色の蛍光ペン

章=ピンク、各条文=水色、分野別過去問題の要点=黄色、一問一答・実力テスト等=黄緑、に色分けします。パッと目に入って気安く、どの条文が過去問等で頻出されたか一目瞭然となります。

### ③ サブノートは作らない

勉強時間をたっぷり取れる方ならともかく、仕事をしていて時間の確保が難しい方はサブノートを作っている暇は無いかと思います。先生の口頭説明を出来る限り何でもかんでも鉛筆でテキストへ記入します。最初は意味が分からずに書いていても、後になって整理できる様になります。

### ④ テキスト完成

スコーレのテキストは過去問のほとんどをカバーしておりますので信頼して、まず、ライン引き、書き込みの作業はその科目の実力テストまでに必ず終らせませす。そして各実力テストの前に最低でも1回は全体を一気に読みます。テキストが完成するところからでも来いという気持ちの余裕ができ、見通しを立てることができました。

⑤ 分野別・一問一答を繰り返し解く

上記②の黄色と黄緑のラインを引く際に一度じっくり解いている事になりますがその後もテキストに返りながら繰り返し解きます。全体がある程度解けるようになったら間違える問題を中心に解きます。時間が経つと出来た問題も忘れてしまったりするので、なるべく全体に戻って解きます。分からない問題に躓き先に進みにくい場面も有りますが、割切って一気に全体を解く事も必要です。

⑥ 特訓等のオプション講習は全て参加する

特に「答案練習」と改正を基本とする「お盆特訓」は外せません。今年の本試験選択式で「お盆特訓」の法改正問題で自分が間違えた所がバッチリ出題されました。心の中で思わず「貰った！先生、有難うございます！」と叫んでいました。

⑦ それ以外には

上記だけでも相当なボリュームです。それ以外の勉強は必要ないと思います。直前に色々な改正本を購入したり他校の模擬試験を受ける方もいます。時間が有る方は結構でしょうが、私の場合は余計に混乱すると思いました。それよりもこれまで作り上げて来た「宝物」をより深く自分の物にする事が重要かと思いました。

5. 本物から習え！！

社労士の扱う法律は50以上有ります。一般常識を含め本試験ではそのどこから出題されるか分かりません。それを1年間で仕上げなければならず、限りある時間に何をどのようにどこまでやるかで合否が決るでしょう。そのために必要と思われる事を書いてみます。

① 良い学校を選ぶ

良い学校には良い先生・スタッフ・教材が揃っています。スコーレでは試験に合格する勉強以外に「努力の仕方」を教わりました。私は北海道という地方に居ながら、こんなに素晴らしい学校で学べた事に感謝しています。

② 習う素直さと執念

最初の頃は難しい事ばかりで気が滅入ったりします。しかし成果が表れるまで相当の勉強量をこなさなければなりません。(ここで大部分の人が途中で止めてしまいます。) 良い学校を選んだら、方法を変えたり学習を止めたりせず、それを信じてもうひと踏ん張りです！

スコーレを信じて、合格への執念をもって臨みました。

6. 感謝の気持ち

今年も全国7.6%の合格率と厳しいものでした。しかし、北海道が全国平均を上回る8.1%でした。これはスコーレの頑張りも合格率に貢献していると思いました。

これまでスコーレで共に頑張ってきて、いつ合格してもおかしくない優秀な方々が、出題の巡り合わせ等で1点に泣いたりしております、その方々へ申し上げたいと思います。「失敗はある。しかし成功するまで続けたら失敗は無い。成功とは成功するまで続けることだ。」(松下幸之助さんの言葉)

最後になりますが、こんな自分が合格できたのもスコーレのお陰です。先生、事務局スタッフの皆さん、本当に有難うございました。今後もこの資格を基に肉付けをする勉強に励みます。

以上

最近日経新聞にこんな記事が有り、意外な気持ちになりました。

「国民にわかる民法を；法律を口語体平仮名に書換えて読めるようになったけれど、意味がサッパリなのは変らない。例えば 149 条『裁判上の請求は、訴えの却下又は取下げの場合には、時効の中断の効力を生じない』等々…略」

スコーレの生徒さんであれば、当り前に解釈できる事でしょう。社労士でも条文を見て尻尾を巻く方もいらっしゃるかと伺っております。でも社労士は法律家です。法律を読んで解釈運用する能力を備えていなければ「社労士」として大いに活躍できないと思います。

素直になる事とは、学校や教材等周りの環境のせいせず、自分自身の勉強の「度合い」の違いを理解する事が大切だと思います。例えば 1 日 5 時間勉強する人にとって 1 日 2 時間勉強する人は怠け者です。実際には時間数には関係なく集中力が大切かと思います。どこまででも「できるまでやる」という気持ちが必要でしょう。学習は単調なので常にモチベーションを高めていかねばなりません。私は最後まで